

第 118 回日展

第 5 科（書） 特選授賞理由

題名 作者名
万葉の四季 **秋山英津子**
授賞理由
「寸松庵色紙」に見られる、かなの散らしの美を追った作品である。和歌一首を集団に分け、そのバランスを考え、隣り合う行との墨色変化を演出。さらに料紙の色にも考慮し、美しい景色を見事につくりあげている。

邱象升詩 **池永碧濤**
授賞理由
規模悠大に温潤で円勢の線條で墨量充分に厚味と深味ある線質で文字大小と疎密を考慮しながら絶妙に構築され、彼の実直な性格そのままの気持ちの落ち着く好作品である。

アルカイック・スマイル **大崎雨萩**
授賞理由
調和体作品として、漢字とかなとのバランスがよく整っている。また羊毛筆を駆使して、柔らかな線を表現し、加えてだらかで流れるような構成は、作品タイトルに通じる優しさや暖かさを醸し出している魅力ある逸品である。

夙敏 **佐川峰章**
授賞理由
西周時代の古代文字に現代の感性を取り入れた制作技術は圧巻である。線の太細、白黒の対比、広狭のバランス、潤渴の変化など繊細な調和が巧みに組み込まれており、近代書芸術の真髄を体現した特選に相応しい作である。

廓然無礙 **田邊栖鳳**
授賞理由
禅語四文字を奇を銜うことなく美しい線性により表現した見事な作品である。唯一無の字を別体の「无」に置き換えることにより派生させた疎密の工夫は高く評価される。更に安定した刀法が強靱であることが羨ましい。

題名 作者名
剔灯 **角田大壤**
授賞理由
精緻な筆致による鮮やかな線と墨氣は、作品に生命を吹き込む。下半にある渴筆が豊かな表情を生み出し、上半の白との均衡を保つ巧妙な構成となっている。この高度な書技と構成の発想は、独自の魅力と言える。

八重さくら **中右万佐代**
授賞理由
骨格の確かな線條で、流麗優美な時間推移を感じさせる卷子本に仕上げた。特に濃色料紙に明暗を表現した技術は、墨量の潤渴と線の太細変化によるものの両者を駆使しており、運筆の確かな修練が窺える作品である。

想ひ **西田 健**
授賞理由
線質の清潔さに加え、見事な墨量の変化や、文字の大小などの工夫、線の太細を明確に表現することにより、起伏に富みながらも全体として自然なまとまりを見せた秀作に仕上がっている。

枯魚過河泣 **蓮見光春**
授賞理由
豊かで温かみのある線が魅力で、連綿を多用せずも作者の経験に裏打ちされたリズムと呼吸により行間の美しさが見事である。文字の極端なデフォルメに頼らず骨格のある字形と堂々とした書き振りに好感が持てる秀作である。

雪の花 **湯澤 聰**
授賞理由
次第に行頭を上げながらも淡々と書き進め、機が熟した所で見せ場を演出している。その手法はドラマチックである。雄大な運筆と文字の懐の広さや行間等の余白は爽やかで白が冴え、大胆かつ繊細な大字仮名の秀作である。